

第7回あきた米粉利用推進ネットワーク総会を開催

平成 21 年 9 月 14 日（月）、東北農政局秋田農政事務所において、会員 14 団体及びオブザーバー会員 2 団体の出席のもと「第 7 回あきた米粉利用推進ネットワーク総会」が開催されました。



【総会の様子】

はじめに来賓挨拶として東北農政局岩片食糧部長から米粉を取り巻く情勢や農林水産省の米粉需要拡大に向けた取組み、現場の声を今後の取組みに反映したいとの挨拶をいただきました。

総会議事は、議長の秋田県パン協同組合の高山事務局長の進行により、平成 20 年度の事業報告及び 21 年度の事業計画、会則改正、役員体制についてすべて承認されました。内容は、関係団体のイベントとの連携や米粉料理教室等を開きPRを行う、会員の加入を推進し、ネットワークの強化、活性化を図ること等を確認しました。

新会長には、秋田県総合食品研究所の高橋砂織食品加工研究所長、新副会長には株式会社たけや製パンの島崎一彦代表取締役専務が就任しました。

総会終了後は、引き続き東北農政局主催の米粉の利用推進について意見交換会を開催しました。

意見交換会では、米粉と小麦粉の価格差がある中で米粉を使ったメリットを出さないと売れない、米の流通経路が複雑、米粉の規格基準の必要性等様々な意見が出されました。日ごろ米粉利用推進に携わっている方々の悩みや思いを掘り起こし、会員同士その思いを共有できた会となりました。